

宮城県版第三者認証GAP導入ガイドの活用

情報経営部 情報チーム TEL:022-383-8120

研究の目的

今後、第三者認証GAP取得を目指す経営体の増加が見込まれることから、取得に向けた管理ポイントや取得によるメリット、継続効果と課題等について明らかにし、その推進のため「第三者認証GAP導入ガイド」を作成しました。

研究成果

「第三者認証GAP導入ガイド」（以下ガイドとする）の掲載項目は表1のとおりで、GAPの目的とメリット、継続効果、改善方法等を記載しています。このガイドは新規に第三者認証GAPを導入する経営者の参考書として使用できます。

表1 掲載項目

掲載項目	
1	はじめに
1	GAPとは？
2	GAPをする目的
3	GAPのメリット
4	個別認証調査結果
5	団体認証調査結果
6	調査事例
2	GAP認証取得までの流れ
3	管理点チェック表
1	JGAP
2	ASIAGAP
3	GlobalG.A.P.
4	必要書類
1	JGAP
2	ASIAGAP
5	リスク評価
1	リスク評価方法
2	リスク危害要因
6	掲示物
7	GAP審査会社・コンサルタント会社・分析機関
8	参考URL・関係法令



図1 掲載内容例（1.はじめに 6 調査事例）

利活用の留意点等

本ガイドは、経営者自身が活用することも出来ますが、農業改良普及指導員等の指導者とともに確認しながら活用することを想定しています。

掲載項目の「4 個別認証調査結果」および「5 団体認証調査結果」は、平成29～31年度に実施した県内外の個別認証経営体13経営、団体認証4団体等への聞き取り調査を基に作成しています。

本ガイドは、表計算ソフトExcelで作成し、第三者認証GAP（JGAP, ASIAGAP, Global G.A.P.）の管理点適合チェック等を設定しており、農業・園芸総合研究所情報経営部より入手可能です。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第95号（令和2年発行）「宮城県版第三者認証GAP導入ガイドの活用」をご覧ください。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/fukyugi95no9.html

